

条例等議案関係（概要）

議案番号	議案名	内 容
報 告 第35号	熊本県教育委員会の点検及び評価報告書の提出について	令和2年度の熊本県教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価報告書の提出（地方教育行政の組織及び運営に関する法律） ・ 報告書は別冊のとおり。 ・ 報告書の概要については、以下のとおり。

1 報告書について


- 本県教育行政の効果的な推進、県民への説明を目的に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、県教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を実施した。

2 報告書第1部 教育委員会の活動状況

- 教育委員会（教育長、教育委員5名）は、会議や学校訪問等を実施した。
 - ・ 会議の開催（定例会 12回 臨時会 2回）
 - ・ 学校等訪問（県立熊本工業高等学校、御船町立小坂小学校、県立翔陽高等学校）
 - ・ 学校行事への出席 ※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から出席なし
- 教育委員会の活動内容について、マスコミへの情報提供とともに、広報誌やホームページ等を活用して情報発信を行った。

3 報告書第2部 「第3期くまもと『夢への架け橋』教育プラン」に関連する教育施策の実施状況

- 「第3期くまもと『夢への架け橋』教育プラン」で設定している全15の指標のうち、策定時に比べ改善した指標は5指標、横ばいは3指標、悪化した指標3指標となっている。また、新型コロナウイルス感染症の影響による調査中止等が4指標となっている。改善していない指標については、引き続き目標達成に向け、課題への対応を進めていく。

全指標	改善 	横ばい 	悪化 	— (調査中止等)
15指標	5指標	3指標	3指標	4指標

※第3期プラン中、重点的に取り組む事項については、「夢を実現する重点取組」として10項目を掲げており、当該事項については、“★”で表示した。

4 令和2年度の主な取組、課題・今後の方向性について



令和2年度の主な取組	課題・今後の方向性
【基本的方向性1】家庭・地域の教育力向上	
(重点取組) ★ 家庭教育支援にしっかり取り組みます	
★「くまもと家庭教育支援条例」の周知及び条例に基づく家庭教育を支援するための施策を実施。条例認知率は2年連続で過去最高値となった。	★条例の周知と併せ、条例の理念である家庭教育の重要性の啓発や家庭教育を支援する社会的気運の醸成を図る。
★全市町村に「親の学び」推進園を指定し、就学前施設における「親の学び」講座の普及を図った。	★感染防止対策や、より保護者に身近なツールを活用した新たな講座を開発し、保護者の学びの機会の確保を図る。
【基本的方向性2】安全・安心に過ごせる学校づくり	
(重点取組) ★ 子供たちが安全・安心に学ぶ学校をつくります ★ 貧困の連鎖を教育で断ち切ります	
★人権教育に係る教職員の資質や実践的な指導力を高めるための研修会等を実施。	★教職員の人権問題への基本的認識を深めるための主体的な研修が必要。
★「熊本県いじめ防止基本方針」を改訂し、教職員研修の充実や情報集約担当者設置等を規定。	★情報集約担当者に係る基本的な運用方針を整理する。
★スクールカウンセラー(75人)、スクールソーシャルワーカー(21人)を配置し、連携して対応した。	★学校単独での解決が難しい問題について、SC、SSW等の専門家との一層の連携が必要。
★経済的理由により就学の機会が奪われることのないよう、経済的支援を行った。	★支援制度についての継続的な周知が必要。
【基本的方向性3】確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成	
(重点取組) ★ “生きる力”の基礎となる学力向上を図ります	
★『熊本の学び』アクションプロジェクトを作成し、各学校へ周知した。	★『熊本の学び』アクションプロジェクトに基づく具体的取組を展開する。
★「高校生のための学びの基礎診断」活用方針を定め、方針に基づき、各校において「基礎学力定着のための指導計画」を策定した。	★「基礎学力定着のための指導計画」におけるPDCAサイクルの確立に向け、学校訪問等を通じた指導・助言を行う。
【基本的方向性4】障がいや多様な教育的ニーズに応える	
(重点取組) ★ 障がいのある子供の学びを支えます	
★個別の教育支援計画の引継ぎに係る実態調査を実施し、作成及び引継ぎに関するガイドラインを作成・発出した。	★進学や就職先への引継ぎにおける個別の教育支援計画活用のための支援が必要。
★「かもと稲田支援学校」「鏡わかあゆ高等支援学校」の整備を進め、令和3年4月1日に開校した。	★「県立特別支援学校整備計画【改訂版】」等に基づき、既存校の整備を進める。

【基本的方向性1】家庭・地域の教育力向上


指標名	策定時	目標値	R2実績値(※)	策定時比
保護者が家庭教育について学んだ園・学校の割合(★) (「親の学び」講座等を実施した園・学校の割合)	就学前 34.4% 小学校 99.6% 中学校 97.4% <R2.3>	就学前 50% 小学校 100% 中学校 100% <R6.3>	就学前 8.0% 小学校 64.9% 中学校 51.3% <R3.3>	

※R2はオンデマンド講座によるものは含まないが、R3からはオンデマンド講座を含めた実績値を算出予定。


【基本的方向性2】安全・安心に過ごせる学校づくり

指標名	策定時	目標値	R2実績値	策定時比
いじめを受けた児童生徒で、誰かに話をした、又は自分で解決できると答えた割合(★)	80.4% <R元.12>	100% <R5.12>	79.1% <R2.12>	
不登校の児童生徒が、教職員だけではなく専門家からの支援を受けている割合(★) (公立小中学校)	89.7% <R2.3>	100% <R6.3>	84.2% <R3.3>	

【基本的方向性3】確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成

指標名	策定時	目標値	R2実績値	策定時比
児童生徒の学力が向上した割合(★) (小中学校) (全国学力・学習状況調査で全国平均を上回った項目数)	1/5項目で全国平均を上回る <H31.4>	すべて全国平均を上回る <R5.4>	— (調査中止)	—
生徒の学力が向上した割合(★) (高等学校) (「高校生のための学びの基礎診断」で学力が向上した生徒の割合)	52.9% <R2.3>	65% <R6.3>	55.1% <R3.3> (速報値)	
児童生徒の体力が向上した割合 (全国体力・運動能力、運動習慣等調査で全国平均を上回った種目数の割合)	70.6% (24/34種目) <R元.12>	100% (34/34種目) <R5.12>	— (調査中止)	—

【基本的方向性4】障がいや多様な教育的ニーズに応える

指標名	策定時	目標値	R2実績値	策定時比
児童生徒が切れ目なく支援を受けられる割合(★) (個別の教育支援計画の小学校から高等学校までの引継ぎの割合)	64.7% <R2.9>	100% <R6.9>	R3.9算出予定	—
特別支援学校において生徒が就職できた割合(★) (就職希望者数に占める就労継続支援A型を含む就職者数の割合)	88.7% <R2.3>	100% <R6.3>	97.5% <R3.3>	

令和2年度の主な取組	課題・今後の方向性
【基本的方向性5】 キャリア教育の充実とグローバル人材の育成	
(重点取組) ★ 英語教育日本一を目指します ★ 進学や就職の夢を叶えます	
★県立高校(全日制)においてインターンシップを実施した。	★特に普通科生徒のインターンシップ体験の増加が課題。
★中学生の外部検定試験の受験料の1/3以上を補助する市町村に対し、受験料の1/3以内を補助した。	★受験率は上昇したものの、取得率が若干低下しており、英語力向上のための着実な取組を進める。
★一部の高校の授業に即興型英語ディベートを導入した。また、低所得世帯の高校2年生に外部検定試験の受験料を補助した。	★即興型英語ディベートの全高校への普及。また、受験料補助の活用を促進。
【基本的方向性6】 魅力ある学校づくり	
(重点取組) ★ 魅力ある学校づくりを進めます	
★外部有識者からなる「県立高等学校あり方検討会」を設置し、提言をもとに魅力ある学校づくりに向けた取組の方向性をまとめた。	★令和3年度から令和6年度の4年間で計画的に魅力ある学校づくりに取り組んでいく。
★計画期間を2030年度までの10年間とする「熊本県立学校施設長寿命化プラン」を策定した。	★長寿命化プランに基づき、順次、長寿命化改修を推進する。
【基本的方向性7】 子供たちの学びを支える	
(重点取組) ★ 教員の指導力向上を図ります ★ ICT教育日本一を目指します	
★スーパーティーチャーの指導・助言により教員の指導力向上を図った。	★スーパーティーチャーのさらなる活用及び増員が必要。
★県立高校の1/3校に当たる先行実践校及び特別支援学校(小中学部)の端末整備が完了した。	★未整備校への早急な整備を進めるとともに、教職員のICT活用指導力の向上を図る。
【基本的方向性8】 文化・スポーツの振興と生涯学習の推進	
・学校や地域でのスポーツ活動の充実を図るための市町村向け研修会等を実施した。	・総合型地域スポーツクラブの更なる設置促進及び指導者の育成と活動内容の質向上が必要。
・文化財の保存・活用の基本的な方向性を明確化した「熊本県文化財保存活用大綱」を策定した。	・大綱の各項目に定めた取組を順次実行に移していく。
【基本的方向性9】 災害からの復旧・復興	
・令和2年7月豪雨で被災した県立学校5校のうち、1校の復旧が完了。また、市町村立学校15校のうち7校の復旧が完了した。	・特に被害が甚大な球磨村立渡小学校について、球磨村、国、県で連携を取り、必要な支援を行う。

【基本的方向性5】キャリア教育の充実とグローバル人材の育成

指標名	策定時	目標値	R2実績値	策定時比
高校生（全日制）がインターンシップを体験した割合（★）	70.2% <R2.3>	80% <R6.3>	68.9% <R3.3>	
生徒が英語力を身に付けた割合（★） （中3：英検3級相当取得率 高3：英検準2級相当取得率）	中3 27.1% 高3 32.9% <R元.12>	中3 40.0% 高3 45.0% <R5.12>	中3 26.3% 高3 34.4% <R2.12>	中3 高3

【基本的方向性6】魅力ある学校づくり

指標名	策定時	目標値	R2実績値	策定時比
入学を希望する生徒が増加した県立高等学校の学科・コースの割合（★）	50.3% <R2.9>	80% <R6.9>	50.3% <R2.9>	—

【基本的方向性7】子供たちの学びを支える

指標名	策定時	目標値	R2実績値	策定時比
教職員の時間外在校等時間が年360時間以内となっている割合（★）	45.6% <R2.3>	100%に向け 前年度より増加 <R6.3>	50.8% <R3.3>	
学校における情報化が先進的である地域の数（★）	〔市町村立学校〕 3地域 〔県立学校〕 0地域 <R2.3>	〔市町村立学校〕 44地域 〔県立学校〕 1地域 <R6.3>	〔市町村立学校〕 3地域 〔県立学校〕 0地域 <R3.3>	

【基本的方向性8】文化・スポーツの振興と生涯学習の推進

指標名	策定時	目標値	R2実績値	策定時比
地域に総合型地域スポーツクラブが設置されている割合	91.1% （県内における総合型地域スポーツクラブ設置市町村41/45市町村） <R2.3>	100% <R6.3>	91.1% <R3.3>	

【基本的方向性9】災害からの復旧・復興

指標名	策定時	目標値	R2実績値	策定時比
文化財（国・県指定、国登録）の災害復旧が進んでいる割合 （令和2年7月豪雨）	0% <R2.7>	85% <R6.3>	28% <R3.3>	